

植樹願い込めて

美しい里山再生 天竜区に新拠点

エフ・シー・シーが開設

大手クラッチメーカーのエフ・シー・シー（本社・浜松市北区細江町、住田四郎社長）

天竜区小堀谷地区で森づくり活動に取り組んだ。放置林を豊かな森に再生しようと活動するNPOプレンティアの（企業の社会貢献活動の一環として同市森（事務局・同市中

区）の運動に賛同。同NPOが市から無償貸与されている小堀谷地区の市有林のうち約一・四畝を借りて「エフ・シー・シーの森」と名付け、自社の森づくり活動の拠点とした。

この日は開設記念のイベントを行い、従業員家族らとタイからの研修生二人も含めて三十五人が参加した。中村哲美総務部長と子どもたちが記念の看板を

のコンラの苗木三十五本を植樹、将来は豊かな森に生まれ変わることを願った。

小堀谷地区の森は全体では約一〇・四畝の広さ。森づくり整備の技術指導をするプレンティアの森の水野博代表は「生態系豊かな森と美しい里山の風景を再生するのが願い。さらに地域の企業の参加を呼びかけていきたい」と話した。

も挑戦。最後は広葉樹（間瀬文隆）



看板の除幕で森の開設を祝う中村総務部長（中央）と子どもたち＝浜松市天竜区小堀谷地区で